

公立大学法人名古屋市立大学第二期中期目標（案） に対する市民意見の内容及び市の考え方

「公立大学法人名古屋市立大学第二期中期目標（案）」に対し、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

皆様からお寄せいただいたご意見と、それに対する市の考え方を公表いたします。

なお、ご意見のうち、内容について趣旨の類似するものはまとめさせていただいたほか、原文を一部要約、または分割等して掲載しておりますので、ご了承ください。

平成 23 年 10 月 名古屋市

実施結果

1 実施期間

平成 23 年 7 月 19 日（火）から平成 23 年 8 月 17 日（水）まで

2 提出状況

意見提出者 12 人

意見数 34 件

3 提出方法

ファックス 4 人

電子メール 8 人

4 意見の内訳

1 第二期中期目標（案）全般に対するご意見 8 件

2 第二期中期目標（案）の各項目に対するご意見

(1) 前文に対するご意見 4 件

(2) 教育に関する目標に対するご意見 1 件

(3) 研究に関する目標に対するご意見 1 件

(4) 社会貢献等に関する目標に対するご意見 8 件

(5) 大学の国際化に関する目標に対するご意見 1 件

(6) 附属病院に関する目標に対するご意見 4 件

(7) 業務運営の改善及び効率化に関する目標に対するご意見 1 件

(8) 自己点検、評価、情報の提供等に関する目標に対するご意見 . . . 1 件

(9) その他の業務運営に関する重要目標に対するご意見 3 件

3 その他のご意見 2 件

1 第二期中期目標（案）全般に対するご意見（8件）

市民意見	市の考え方
・地方自治体が大学を持つ意義について、中期目標に記載するべきではないか。	市が大学を設置する主な意義としては、高等教育の機会均等を保障することや教育研究活動を通じてその成果を地域社会に還元することであると考えています。第二期中期目標でも当該意義を踏まえ、教育・研究及び社会貢献活動に積極的に取り組み、全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学をめざします。
・市立大学には名古屋に定着する大学になってもらいたい。	自主的・自律的な大学運営を行うためには安定した財源の確保が必要であると考えており、これまで同様、中期目標を達成するために必要な金額を市から交付するとともに、市立大学としても自己収入の確保に引き続き努めてもらいたいと考えています。
・市が設立した大学であるという存在そのものが貴重な財産であり、教育・研究等に必要予算の公的な保障が必要である。	
・中期計画で目標の数値化を行うことにより、その達成度がわかるようになることは良いことである。	第二期中期目標では「中期計画を市立大学が策定するに当たっては、数値目標と実施年度の目標を定めて実施するものとする」ことを掲げており、数値化が可能なものについては、第二期中期計画で今後定める予定です。
・この地域には理学系の大学が少ないことから、市立大学に理学部を設立してほしい。	第二期中期目標では「社会的な要請や時代の変化に対応し、より適切な教育実施体制を確立する」ことを掲げています。その趣旨を踏まえ、理学部の設置や既存の学部・学科の再編など、学部・学科のあり方については、少子化による学生数の減少や社会のニーズに対応した教育・研究課題の変化等、総合的な視角からの検討が必要であると考えています。

2 第二期中期目標（案）の各項目に対するご意見

（1）前文に対するご意見（4件）

市民意見	市の考え方
・「持続可能な共生社会の形成」のために、市立大学が具体的にどう貢献できるのか明らかにする必要がある。	市立大学は、人類が自ら招いた社会環境や自然環境の変化がもたらす諸問題の解決のために、第二期中期目標に掲げる教育、研究、社会貢献等の各項目において総合大学としてこれまで蓄積してきた知的創造力を以て全力で取り組む所存ですが、中期目標の各項目の具体的

	な事柄については、今後市立大学で定める中期計画の中で取り組むこととしています。
・「我がまちナゴヤの大学」と名古屋をカタカナ表記したのはなぜか。	名古屋市及び市立大学が、あらゆる世代、あらゆる国の人にも親しみ易く、広く受け入れられるような表現を意識してカタカナ表記としたものです。
・「市民の健康と福祉の向上に資する教育研究課題に積極的に取り組む」とあるが、「積極的・具体的に取り組む」としてもらいたい。	中期目標の各項目や、今後市立大学で定める中期計画の中で具体的に取り組むこととしています。
・率先した取り組みとして「名古屋市立大学は大学の使命として、確実に到来が予想される超高齢社会および少子化による人口減少社会への大都市名古屋の具体的対応策を示す」ことを掲げてもらいたい。	第二期中期目標でも率先した取り組みとして「次世代育成支援に関わる教育研究課題に重点的に取り組む」ことや、「市民及び地域への教育研究成果の還元を通じて、名古屋市の行政課題の解決を始めとした地域社会の発展に寄与する」ことを掲げています。こうした取り組みを通じて、市立大学が超高齢社会や人口減少社会などの喫緊の課題に対応し、魅力ある地域社会づくりに貢献できるものと考えています。

(2) 教育に関する目標に対するご意見（1件）

市民意見	市の考え方
・社会人入学制度を多様化するなど、社会人教育を充実させてほしい。	第一期中期目標では「社会人学生に対する支援の強化を図る」ことを掲げており、社会人学生の長期履修制度や昼夜・土曜日開講制度などの修学支援制度や、優れた研究業績のある社会人等について修業年限を短縮することができる早期修了制度を構築するなど、一定の成果があったものと考えています。なお社会人大学院生の受入数については、第一期中期計画で「23年度中に年間160名とする」という数値目標を掲げており、22年度には230名を受入れています。 第二期中期目標期間においては、第一期で構築した制度の適切な運用をはかりながら、今後市立大学で定める中期計画の中で具体的に取り組むこととしています。

(3) 研究に関する目標に対するご意見 (1件)

市民意見	市の考え方
研究者がより高い研究レベルに挑戦できるよう支援を行うとともに、研究成果を市民に発信する仕組みを充実させてほしい。	第二期中期目標では「世界の水準で競争できる研究活動を推進する」ことや「健康の維持増進、次世代育成支援、地球環境の保全、社会環境の整備発展等に資する研究に重点的に取り組み、その成果を市民、地域・社会へ還元する」ことを掲げています。第二期中期目標に掲げた取り組みを着実に実施するよう努めてまいります。

(4) 社会貢献等に関する目標に対するご意見 (8件)

市民意見	市の考え方
市民・地域社会への貢献を目標に掲げているが、高等教育機関である大学の本旨は学生の教育である。	第二期中期目標でも掲げているとおり、教育は市立大学が社会や学生・大学院生に対して果たす最優先の責務であります。教育研究成果をはじめとする市立大学の有する資源を活用し、市民・地域社会へ貢献することは、市が設立した大学として必要であると考えます。
総合大学ならではの幅広い講座を設けることで、多様な市民が生涯学習として受講できるのではないかと思います。今までの実績や市民のニーズを取り入れ、参加が楽しみになるような多様な生涯学習講座を開講してほしい。	第二期中期目標では「市民に対する生涯学習の幅広い展開を図る」ことを掲げています。これまでも参加者へのアンケートを踏まえ、時代や市民のニーズに適合するような多様な公開講座（市民公開講座・授業公開など）を開講しているところです。今後とも、市民からのご意見を参考にしながら、公開講座の充実やインターネット活用の検討を図り、第二期中期目標に掲げた取り組みを着実に実施するよう努めてまいります。
社会人を含む市民の教育・研究の意欲を引き出す仕組みを充実させてほしい。	
今後、高齢化社会が進行していくことが考えられるので、高齢者が参加できるような教育活動を行うとともに、オープンカレッジなどの取り組みが市民に還元されるようにしてもらいたい。	
生涯学習講座や授業公開は、年齢別定員を設けても良いのではないかと。	
授業で用いた資料のインターネット上での公開を進めるべきではないかと。	
「地域と交流・連携したまちづくり活動への積極的な関わり」を進めるとのことだが、具体的にはどんな活動なのか。地域の商店街・町内会・子ども会の活動も最近ではあまり活	これまで地域と交流・連携したまちづくり活動として、地域の魅力を発信するマップ作りや地域の音楽祭の開催への参画、また教員による商店街活性化に向けた提言や学生による空き

発ではないと思われる。	店舗の活用提案等を行ってきたところです。今後とも引き続き、市立大学が地域社会の発展に貢献できるよう、地域との協働を更に進めていきたいと考えています。
・産学官連携の推進を目標に掲げているが、市立大学には実績があるにも関わらず、広報が不足していると感じる。	共同調査や公開シンポジウムなどにおいて一定の成果はあるものの、市立大学の教育研究の質や規模からみて、一層の産学連携の推進が必要と考えています。また、広報については、第二期中期目標で「戦略的広報の充実を進め、大学の持つ魅力を社会へ強く発信していく」ことを掲げており、産学官連携の実績を始めとした大学の持つ魅力を積極的に広報していきたいと考えています。

(5) 大学の国際化に関する目標に対するご意見（1件）

市民意見	市の考え方
・大学の国際化を目標に掲げているが、学生が英語を不自由なく使える程度の語学力を養うことが必要である。	今後市立大学で定める中期計画の中で語学力教育体制の強化を行うとともに、学生の語学力向上にも取り組むことを予定しています。

(6) 附属病院に関する目標に対するご意見（4件）

市民意見	市の考え方
・「地域の医療機関等との相互協力関係を強化し、地域住民の要請に応えられる医療を提供する」ことを目標に掲げているが、抽象的で具体的でない。	中期目標は理念的な事項を掲げており、具体的な事柄については、今後市立大学で定める中期計画の中で取り組むこととしています。
・この地域で働く医療従事者を多く育ててほしい。	第二期中期目標では「高い倫理観と優れた技術・見識を有する医療人を育成する」ことを掲げているほか、「質の高い安全安心な開かれた医療を提供する」ことや「健全で安定的な運営体制を確保する」ことを掲げています。第二期中期目標に掲げた取り組みを着実に実施するよう努めてまいります。
・市立大学病院は患者から見ても多忙でゆとりがない。スタッフの増員などに必要な予算を確保することが必要である。	
・市立大学病院のサテライト施設を建設してはどうか。	市立大学病院の病棟や診療棟を建て替えて間もなく、現在、これらの施設の安定的な稼働とこれに基づいた高度で先進的な医療の提供を行っています。今後ともこれらの施設による教育・研究機関としての使命を果たしていくこととしています。

(7) 業務運営の改善及び効率化に関する目標に対するご意見 (1件)

市民意見	市の考え方
大学独自で採用する固有職員の比率を高める必要がある。	第一期においても計画的に固有職員の採用を進め、名古屋市からの派遣職員から固有職員中心の体制へと切り替えを順次進めてきたところです。 第二期中期目標でも「法人の自律的な運営の核となる固有職員の確保と育成を図る」ことを掲げています。第二期中期目標に掲げた取り組みを着実に実施するよう努めてまいります。

(8) 自己点検・評価、情報の提供等に関する目標に対するご意見 (1件)

市民意見	市の考え方
開かれた大学、誰でも容易にアクセスできる大学を目指してほしい。	第二期中期目標では「市民や社会に対する説明責任を果たすとともに、戦略的広報の充実を進め、大学の持つ魅力を社会へ強く発信していく」ことを掲げています。第二期中期目標に掲げた取り組みを着実に実施するよう努めてまいります。

(9) その他の業務運営に関する重要目標に対するご意見 (3件)

市民意見	市の考え方
現在建設中の薬学部校舎を予定どおり建設してもらいたい。	薬学部校舎は予定どおり、平成25年度までに改築工事を行うことを予定しております。
平成22年度に開催された生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)における成果や課題への対応について中期目標に記載すべきではないか。	第二期中期目標では「地球環境の保全に関わる教育研究課題に重点的に取り組む」「環境負荷の低減と環境保全に努め、教育研究活動を通じて次世代を育成し、社会に貢献する」ことを掲げています。こうした目標に沿って、地球環境問題に関わる諸課題についても引き続き取り組むこととしています。
山の畑(滝子)キャンパスや北千種キャンパスは老朽化しているが、災害が起こっても安全だと言えるのか。	山の畑(滝子)キャンパス・北千種キャンパスともに、平成25年度までに耐震工事を行うことを予定しております。

3 その他のご意見 (2件)

市民意見	市の考え方
キャンパス内の教室やトイレの掃除を改善してもらいたい。	ご意見の趣旨を踏まえ、今後の参考とさせていただきます。
名古屋市に自然史博物館を設置し、それとリンクした大学となってもらいたい。	

名古屋市総務局行政改革推進部大学調整室
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電 話：052-972-2193
ファックス：052-972-4109
ホームページ：<http://www.city.nagoya.jp/>